

1. 集計結果

○回答数

- ・保護者による評価 15人（15人中）
- ・職員による自己評価 8人（8人中）

○実施期間

- ・2020年12月25日～2020年1月15日

○評価の数値状況

- *別紙を参照

2. 分析・討議

○保護者による評価

- ・「活動の場所の面積が適切であるか」は、「はい」が15人（全員）ある。
- ・「指導員の配置人数は適切であるか」は、「はい」が15人（全員）ある。指導員の手厚さが評価されている。
- ・「子どもにとって危険がともなうようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が15人（全員）ある。
- ・「虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が15人（全員）ある。虐待の心配なく、安心して子どもを通わせることができると評価されている。
- ・「火災や地震、感染症などの対策がなされているか」は、「はい」が14人ある。
- ・「個人情報の取り扱いに十分注意されているか」は、「はい」が15人（全員）ある。
- ・「子どもの育ちの状況を確認、保護者との面談もしながら、個別支援計画書が半年に1回は見直し、作成されているか」は、「はい」が15人（全員）ある。
- ・「子どもに応じた活動が作り出されるとともに、屋内や屋外の活動、長期休業中の活動などが工夫されているか」「子どもは活動を楽しみに参加しているか」「活動に満足しているか」は、「はい」が15人（全員）ずつある。活動内容が評価されている。
- ・「入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明がなされたか」「保護者の思いや願いを汲み取るため、懇切に対応されているか」「保護者と面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取られているか」は、「はい」が15人（全員）ずつある。「保護者に子どもや活動の状況を報告する機会がつくられているか」は、「はい」が14人ある。
- ・「苦情などの意見を寄せたときは、懇切に対応され、改善策をすみやかに伝えられているか」は、「はい」が13人ある。ただし、「わからない」が2人ある。苦情を出したことがないので、どのように対応しているかわからない、ということと思われる。
- ・「会報などが定期的に作られて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりされているか」は、「はい」が15人（全員）ある。「親子行事、きょうだいの会など、保護者や家族が交流できる機会が工夫されているか」は、「はい」が14人あ

る。「保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくろうとされているか」は、「はい」が15人（全員）ある。

○職員による自己評価

- ・全体として、高い自己評価になっている。
- ・「子どもの事故やケガにつながるおそれを感じたときは、責任者に伝えているか」は、「はい」が8人（全員）ある。「すぐに伝えるように心がけている」という意見もある。
- ・「子どものことがわからないと感じたとき、独りよがりの判断をせず、ほかの職員に意見を聞くなどしているか」は、「はい」が7人ある。「ほかの人の関わり方を見て学んだり、情報共有したりしている」という意見もある。
- ・「子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか」は、「はい」が5人ある。ただし、「わからない」が3人ある。「外の研修に、この時期は参加しにくい」という意見もある。外部の研修会は休日に行なわれることが多いため、非常勤職員の場合は、家庭などの事情で参加しにくい人もいると同時に、新型コロナウイルスの問題で、外出しにくい状況も重なったと思われる。
- ・「保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか」は、「はい」が6人ある。「悩むことも多いが、うまく伝えられるように努めている」という意見もある。

3. 改善目標

○保護者による評価

- ・ほとんどが、高い評価となっている。引き続き、安心して子どもを通わせることができるとともに、活動内容や、保護者との関係づくりなどが豊かであるよう、いっそう努力を重ねたい。

○職員による自己評価

- ・ほとんどが、高い評価となっている。引き続き、内部の研修会などをつうじ、子ども1人ひとりの内面を深く理解することを大事にしたい。一方的な講義ではなく、集団的に討議することを留意したい。
- ・外部の研修会への参加は、家庭などの事情があり、容易ではないが、機会をとらえて、参加を呼びかけたい。

4. 公表方法

○保護者・職員への文書の配布（2021年2月より）

○ホームページへの掲載（2021年2月より）